

みのかも文化の森のタカラモノ

No.
18

夏の暑い時期、文化の森にあるドングリの木の2本が茶色くなってしまいました。これはカシノナガキクイムシという虫が大量発生して、樹木を枯らしてしまったからです。

カシノナガキクイムシの成虫の体長は4～5mm程度ですが、直径30cmを超える大きなドングリの木に小さな穴を開け、体に付けた菌を木に繁殖させて枯らしてしまいます。

周辺でも多くの被害が出ていますが、この虫への有効な対策ができていないのが現状です。

これから文化の森のタカラモノであるドングリがたくさん採れる時期ですが、とても心配です。

